

Special Article 1

トリグリセライドと動脈硬化の関係 —最新の話題—

トリグリセライド(TG)にはコレステロールのような直接的な血管への傷害作用は認められないが、動脈硬化惹起性の強いリポ蛋白である small dense LDL やレムナントの増加を促し、間接的に動脈硬化の進展に寄与することが明らかになってきた。冠動脈疾患リスクを十分に低下させるには、LDL コレステロール値のみならず、TG 値への治療介入も重要であると考えられる。そこで今回、昭和大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門教授・平野勉先生に、TG がもたらす動脈硬化リスクについて small dense LDL との関連を中心に解説いただいた。

昭和大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門教授

平野 勉

SAMPLE